



広島・長崎から

「広島・長崎から、人類は何も学んでいない」と、昨年11月30日、フランシスコ教皇は、トルコ訪問からの帰路、機中の記者会見で語りました。

核心をついた厳しいメッセージです。

今年は、第二次世界大戦・太平洋戦争終結と広島・長崎の原子爆弾投下の悲劇を人類が体験してから70周年の年です。

教皇は、核兵器について「神は、無知な私たち人類に創造力を授けた。人類の文明は、有益に使える原子力にまで至った。しかし人類はそれを、人類を殺すために使った」と1945年の原爆投下を振り返りました。そして、今も尚、人類が核兵器を「抑止力」として製造・保持し続ける現状を「そんな文明は、新たな『無知』だ。『終末的』と呼ぶべきだ」と述べ、「もし終末的なことが起きれば、人類は再び一から始めなければならない。広島と長崎がそうしたように」強く警告を發しました。

「平和の巡礼者」と自らを意識し、1981年2月25日に広島平和記念公園と世界平和記念聖堂を訪問された教皇ヨハネ・パウロ二世は、「広島を考えることは、核戦争を拒否することです。広島を考えることは、平和に対して責任をとることです」と熱く語りかけられました。

被爆都市広島に「司教座聖堂・世界平和記念聖堂」を抱えている広島教区は、二人の教皇の呼びかけを新たに心に刻まなければなりません。

「平和の使徒」になることを、広

島教区固有の召命としていることを思い起こし、今年の「平和年」が実り豊かな年になるように、日々祈り、働きましょう。

※「朝日新聞」12月2日号参照

[http://www.asahi.com/articles/AS](http://www.asahi.com/articles/ASGD12D3XGD1UHBI003.html)

[GD12D3XGD1UHBI003.html](http://www.asahi.com/articles/ASGD12D3XGD1UHBI003.html)



新聞全文は会員のみ読むことができます



推進本部の関連ページ

家庭へのチャレンジ

11月12日の家庭に関する教会公文書の紹介は、「結婚の秘跡」に関するカトリック教会のカテキズムを紹介してきました。

結婚の誓約は①夫婦の善益 ②子の出産 ③子の教育に向けられています(カテキズム1601)。

「聖書は神に似せて造られた男と女の創造が始まり(創世記1・26-27)、「小羊の婚宴」(黙示録19・9)の話で終わります。」(カテキズム1602)にあるよう神の計画によって結婚が制定されました。

わたしたち「個人の幸福と一般社会やキリスト教社会の幸福は婚姻と家庭と呼ばれる共同体が健全な状態に固く結ばれています」(カテキズム1603)といわれています。日本では低収入(年収200万円以下)の若者が増え続けています。低収入の若者

の8割が親と同居しているとの報道もあります(カトリック新聞オンライン2014年12月18日付)。結婚もできない、子どもを持つこともできない社会になっているこの国、カテキズムが教える健全な状態でしょうか?

結婚はわたしたちに関係の無い事柄として独身や老年の多くの人が思われているかもしれませんが、神が制定した結婚の制度、神秘、意義や目的を考え、神の国の完成を望み、神に奉仕しているわたしたち一人ひとり(少年・青年・壮年・老年のすべての階層の人)の現代社会での働きが必要となっています。

最後に11月12日ローマ教皇の家庭についてのツイートを紹介します。

11月12日「働くことは何と大切なことでしょう。それは人間の尊厳のため、家族を築くため、平和のためにとっても、です RT @Pontifex: Work is so important for human dignity, for building up a family, for peace」

12月9日「家庭は愛の共同体であり、そこで各自、他の人々や、私たちを取り巻く世界との関わり方を学ぶのです RT @Pontifex: The family is a community of love where each of us learns to relate to others and to the world around us.」



12月16日「聴くことを学ぶのはとても大事なことです。夫婦の対話は、家庭が平穏に暮らすために不可欠です RT @Pontifex: It is so important to listen! Husbands and wives need to communicate to bring happiness and serenity to family life.]

主な教会暦(主日を除く)

01月01日 神の母聖マリア(祭日)
「世界平和の日」

※ローマ教皇の「世界平和の日」メッセージが推進本部 HP を経由して読むことができます

01月04日 主の公現(祭日)
01月06日 教区平和の日
10:00 平和祈願ミサ
(世界平和記念聖堂地下聖堂)
10:45 ピース・ウォーク
01月11日 主の洗礼(祝日)



(ホームページ)

平和の使徒となろう



1月12日教区民集まれ!

「津和野殉教者の列聖をめざして」と題しシンポジウムがエリザベト音楽大学で開催されます。多くの教区民の参加をお待ちしております!

信仰生活のヒント

12月ローマ教皇フランシスコの主なツイートから

12月2日「教会は、最も貧しい人や苦しむ人々にはじまり、あらゆる人々に近づいていくよう招かれています」

「二度と決して奴隷が出ないように。私たちはみな兄弟姉妹です」

12月9日「勇気を持って、神のことに従っていけるよう、おとめマリアに学びましょう」

12月11日「エコロジーは人間の生存にとって必須のもの。私たち全てに関わる倫理課題です」

12月18日「主は明確に語ります。誰も、二人の主人に仕えることはできない、と。神か、お金か、選ばなければなりません」

12月20日「イエスを生活の中心に置くためには、ご聖櫃の前で、イエスの存在のうちに身を置く時間が必要です」

12月23日「時に私たちは、罪に捉えられてしまいます。主よ、来て、私たちを解き放ってください」

12月24日「耳を澄まし、沈黙を保つよう努めましょう。そうすれば、神の素晴らしさが働く空間ができます」

12月25日「イエスとともにいれば、真の喜びが得られます」

12月26日「今日は、キリスト教信仰のために迫害を受けている全ての人のために、祈りましょう」

(聖ステファノ殉教者の日において)



①毎月6日は「平和の日」として平和を祈願する
②教会公文書を通して「平和」を学び、活動の源泉とする
③教区内の「戦争と平和」に関する記念碑等モニュメントを調査や訪問等する

平和年
PAX
2014-2015
2014年8月6日から2015年8月6日まで

広島教区年間テーマ
平和の使徒となろう
チャレンジ 新しい福音宣教 ~わたしをお使いください~
家庭へのチャレンジ

1.召命促進
2.青少年育成
3.教区カテキズム作成
4.津和野殉教者列聖

教区優先課題

GOSPEL PROPHECY HOPE
consecrated Life in the church today
奉獻生活の年